

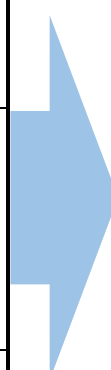
2021年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (NIHOアルテ) 作成日時 (2021年 9月 22日)

代表	施設長	本部
印		

2021年度 改善への取り組み	災害時マニュアルの共有化を徹底し、保護者がより安心して利用者を預ける事が出来る施設の確立
今年度の施設目標	非常時にとる行動やマニュアルそのものを改善し保護者に周知させるしくみを新たに作り出す

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数が適切である ・一部の児童に関しては、個別エリアやテラスなどの活用により自発的な活動に結びついている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動等のスペースが十分に確保できているとは言えない ・設備等のバリアフリー化の配慮が適切にされていない
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに職員が広く参画できている ・職員間の情報共有のシステムを確立したことで、特性や保護者ニーズに沿った個別対応に繋がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムが固定化しないよう工夫されていない ・コロナ禍での自粛に対する理解はあるが、公園遊びなどの外出支援やスタジオでの調理など以前行っていたプログラム活動復活の希望がある
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている ・保護者に対して面談や育児に対する助言等の支援が行われている ・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の活動の支援や保護者会等の開催など保護者同士の連携が支援されていない
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備え避難救出、その他必要な訓練が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが保護者に対して周知またはリアルタイムに発信できていない。特に、緊急時対応については聞いた記憶がない保護者もいる
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定、支援内容、利用者負担等について説明を丁寧に行なっている ・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じたり必要な助言や支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備え、必要な訓練が行っている ・虐待防止の為、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしている ・身体拘束を行うかについて組織的に決定し、保護者に了解を得たうえで支援計画に記載している ・ヒヤリハット事例を事業所内で共有している 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に対し周知、発信が出来ていない



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> ・パニックを起こしやすい利用者に対して、パニック対応の支援が個別でされている ・利用者、保護者様たちが安心して利用することが出来ている ・動画提供等、ITまたはICTを利用し、支援の様子や利用者の活動の様子を保護者様に情報共有する試みが大変好評を得ている ・パーソナルタブレットを使った利用者個別の特性の共有が職員間でとりやすい ・インフォログの活用が定着し、職員間で利用者の行動記録や支援の仕方などの情報も共有しやすい環境にある ・支援事例や外部研修で得た情報を定期的なミーティングにより、職員間に伝達できている ・上記理由により、利用者一人一人に対しての個別支援に統一がされやすい

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者が増えたことで、人員配置またはスケジュールに改善の余地がある ・様々な情報を共有していく仕組みを作っていく中で、災害、感染等の非常時対策の保護者との共有が思った以上に出来ていない 紙ベースの配布では記憶に残らず、保護者様の問い合わせに職員自体も確認に手間取っていた。また、コロナ禍による感染対策に関しても曖昧さがあり、マニュアルが存在していても活用できていない状態である。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・新規受け入れの体制を整える。(新規利用者の情報をインフォログを活用し、スタッフ間に浸透させる。) ・スタッフの支援の技術向上の一環として、全スタッフ対象に個別課題の考案・作成をすることで、個々の特性や発達段階等を理解し、個別対応や支援の方向性をチームで共有できるようにしていくことを継続する。 ・外部研修を受けた際の伝達講習の質の向上を図り、支援者の支援力の底上げをする。 ・防災マニュアル、感染マニュアルまたは非常時行動マニュアルの見直しを急ぎ、保護者コネクト部会を通して、利用者や保護者への情報共有の強化を徹底する

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの徹底や新規策定または伝達講習の本格化など情報が隅々まで行き届くような仕組みの確立を図ってきた。そこに関しては保護者様からも一定の評価をいただいていたが、内容の共有という意味では特に保護者との情報共有が弱い事が今回のアンケートではっきりしてきた。丁寧な支援、オーダーメイドな環境設定、災害時マニュアルの確立等進めていくべきことと、発信すべきことを両立することでより安心して利用することが出来る施設を目指す。そのためには、支援以外の部分の強化も必要である。特に緊急時の対応については、全スタッフが理解したうえで対応にあたるようにしていくこと、またその情報を保護者様に共有していく事、常に最新の情報が提供できることが課題である。

来年度の施設目標	情報共有の徹底と研修や勉強会による統一支援の確立
----------	--------------------------